

有珠山の火山活動解説資料（令和3年1月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①～④、図2～5）

25日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂火口原内の噴気等の状況に特段の変化はありませんでした。

監視カメラによる観測では、山頂火口原からの噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で、噴気活動は低調な状態です。

・地震及び微動の発生状況（図1-⑤、図6）

火山性地震は山頂火口原直下及び昭和新山直下で発生しました。地震回数は少なく、地震活動は低調な状態です。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図7）

GNSS連続観測では、火山活動の高まりを示すような変化は認められません。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

今回の火山活動解説資料（令和3年2月分）は令和3年3月8日に発表する予定です。

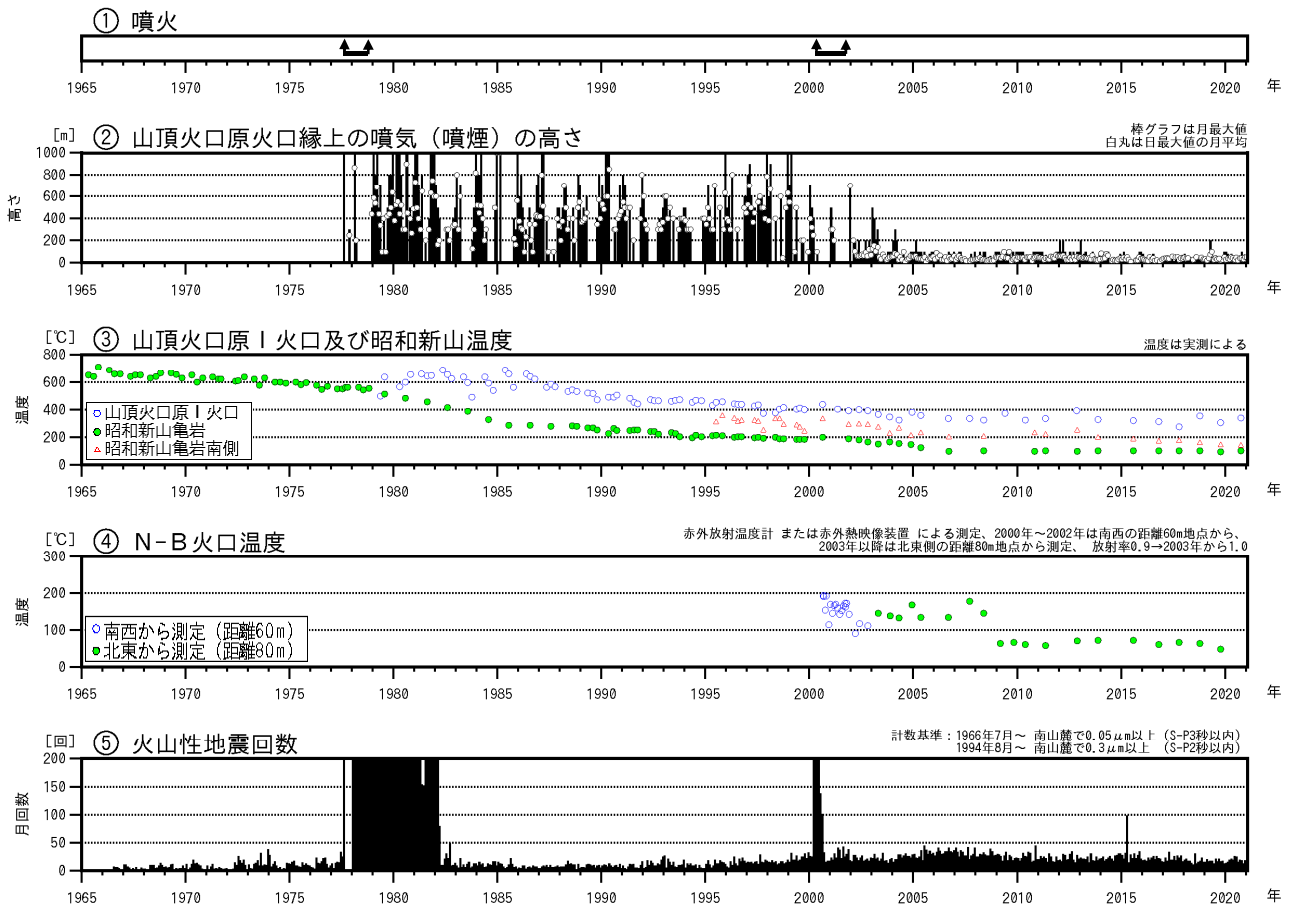


図1 有珠山 火山活動経過図（1965年1月～2021年1月）
↑印で挟まれた期間は噴火活動期を示します。

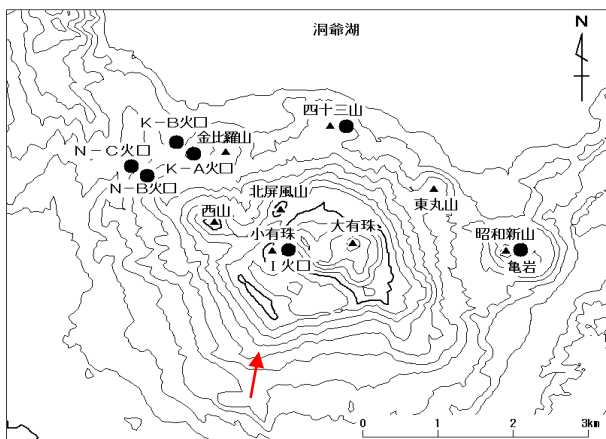


図2 有珠山 周辺図及び写真の撮影方向（矢印）



図3 有珠山 山頂火口原の状況
南側上空（図2の矢印）から撮影



図4 有珠山 山頂火口原の状況
南側上空（図2の矢印）から撮影
・山頂火口原の噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。



図5 有珠山 北西側から見た山体の状況（1月28日、月浦監視カメラによる）

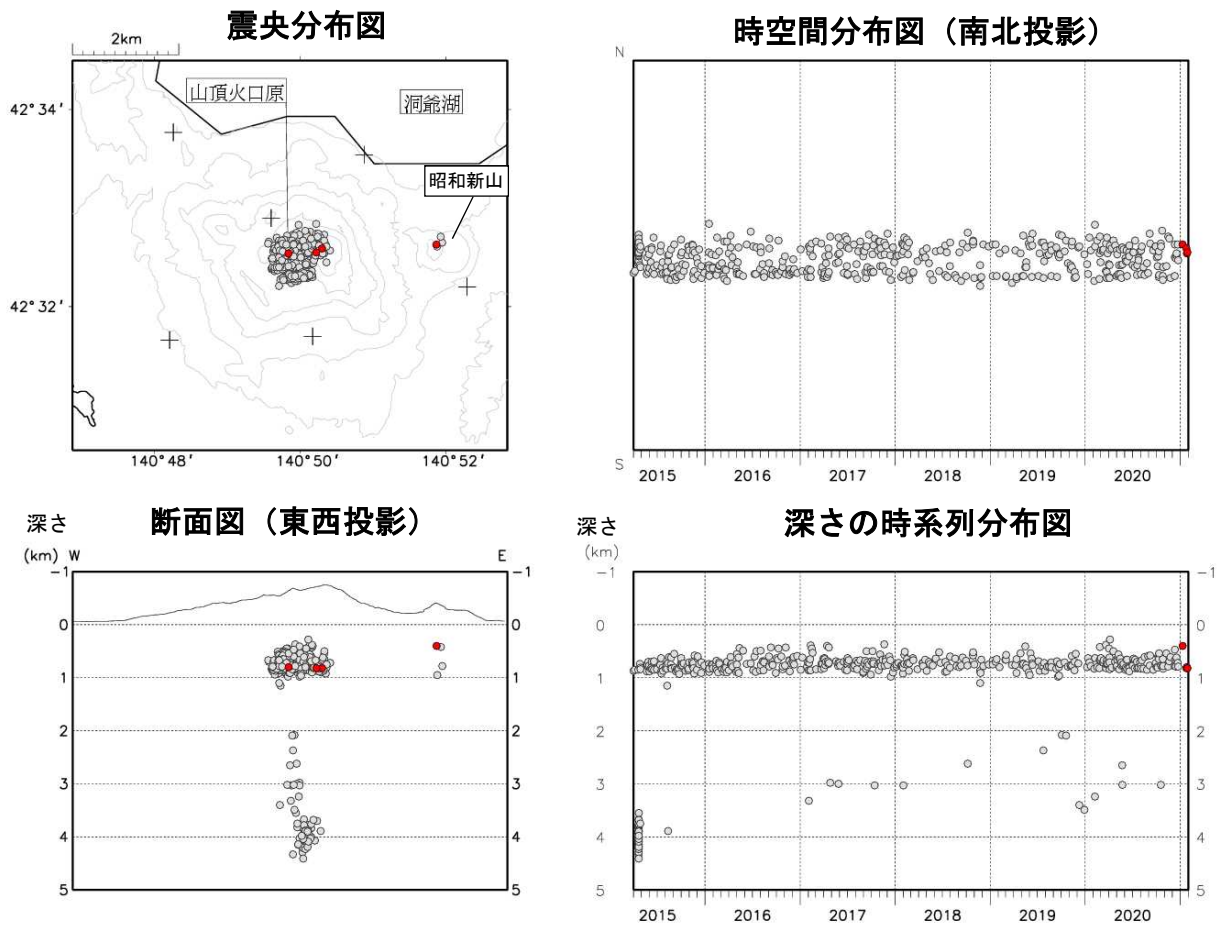


図6 有珠山 火山性地震の震源分布（2015年4月～2021年1月）
 ●印：2015年4月～2020年12月の震源 ●印：2021年1月の震源
 +印：地震観測点

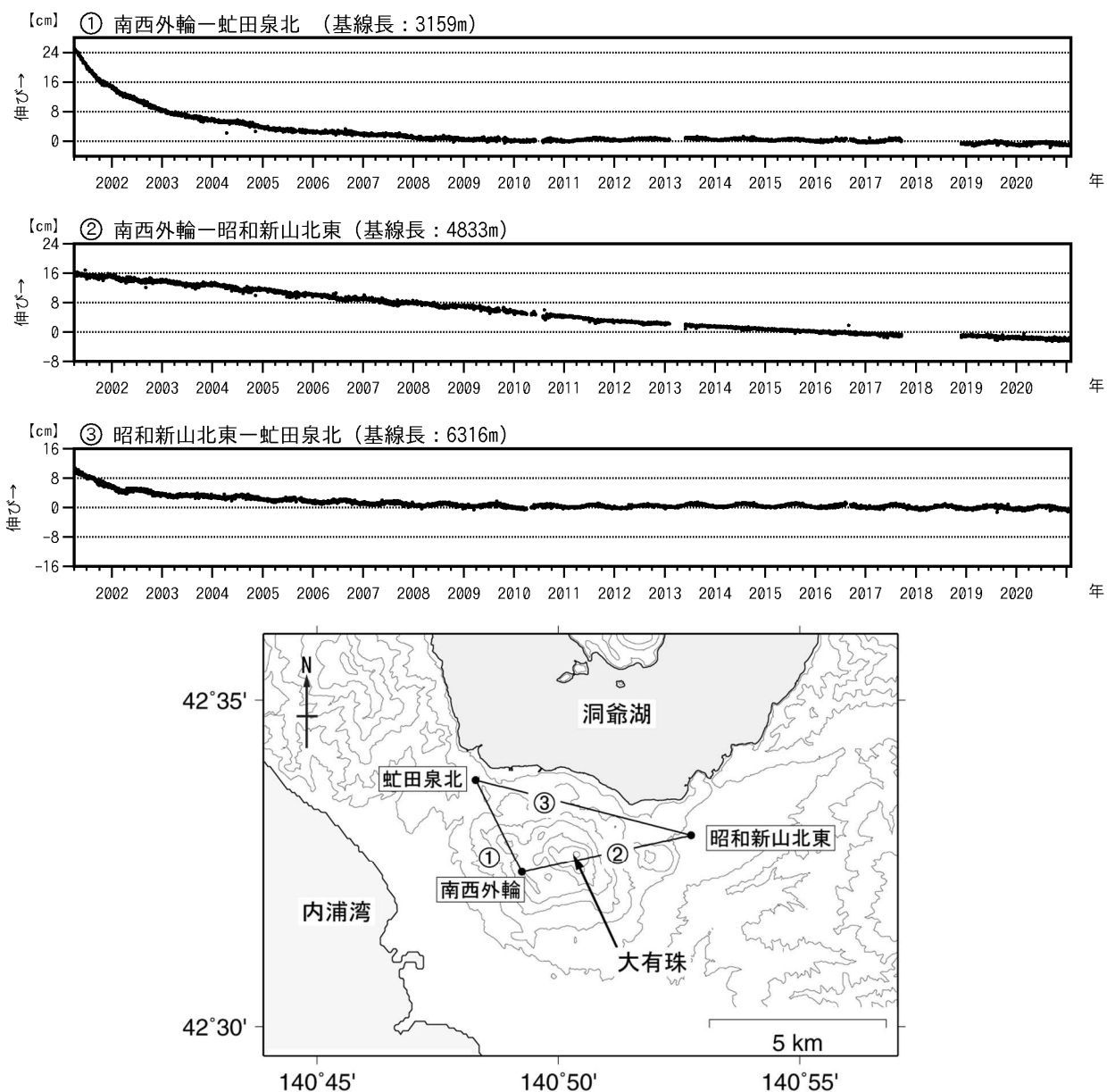


図7 有珠山 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2021年1月）及び観測点配置図
 GNSS基線①～③は観測点配置図の①～③に対応しています。
 GNSS基線の空白部分は欠測を示します。
 2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています。
 ・観測開始（2001年）以降、有珠山山頂部を挟む②の基線での収縮は現在も続いています。

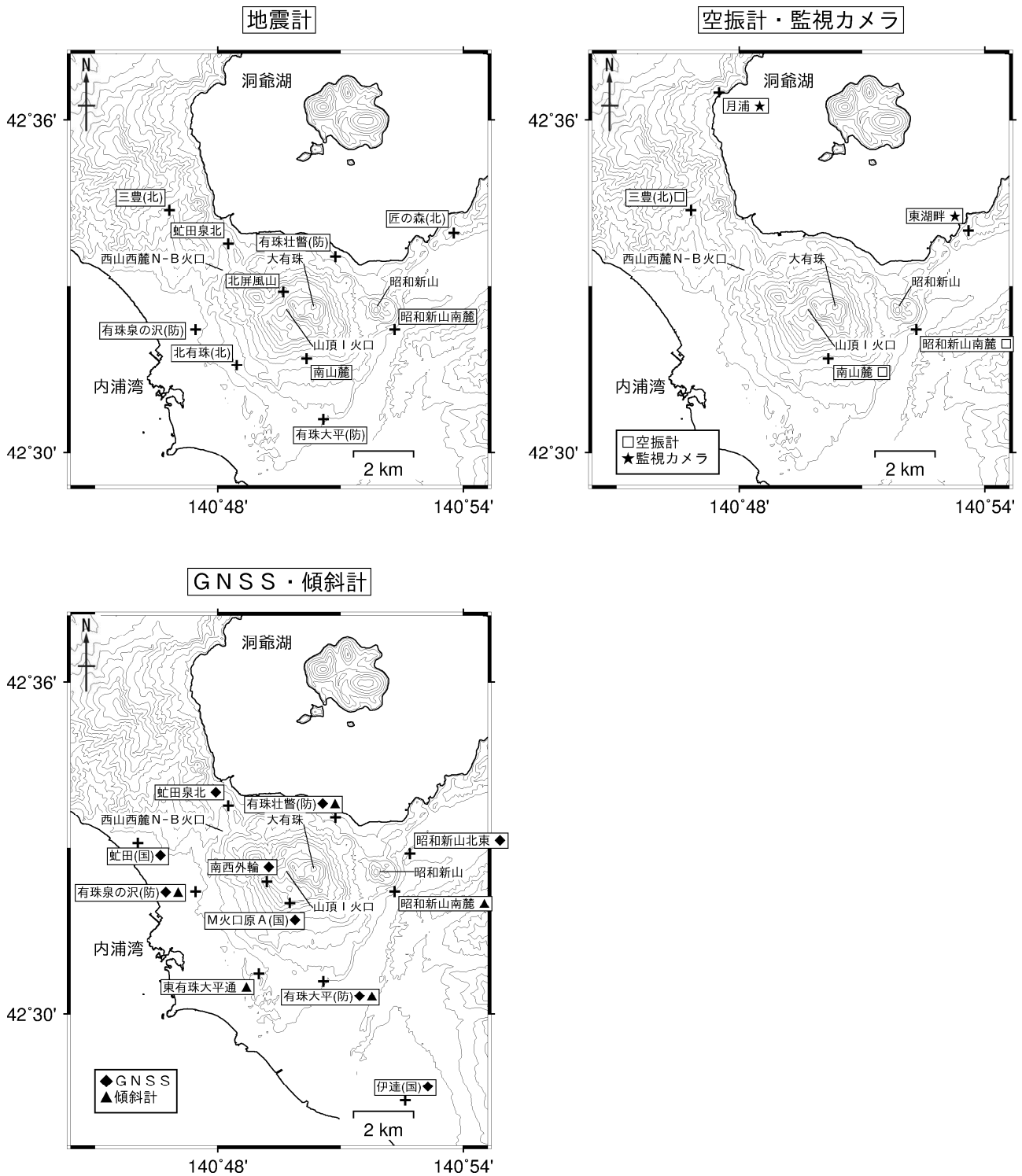


図8 有珠山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国)：国土地理院

(北)：北海道大学

(防)：国立研究開発法人防災科学技術研究所